

令和5年（2023年）8月16日

報道機関各位

横須賀市デジタル・ガバメント推進担当部長

自治体初！ChatGPTを活用した、他自治体向け問い合わせ対応ボットの運用開始

横須賀市ではこのたび、ChatGPTを活用した「他自治体向け問い合わせ対応ボット」を開発し、運用を開始いたしました。これは、自治体では初の取り組みとなります。

現在、本市では、本年4月20日にChatGPTの全庁的な実証を開始して以来、既に80を超える自治体から問い合わせを頂いています。

本対応ボットは、横須賀市のChatGPTの取り組みに関するデータや、他自治体から頂いた問い合わせのデータを、追加のデータベースとして整備することで、ChatGPT単体の機能ではこれまでは回答することが難しかった、「横須賀市のChatGPTの取り組み」といった、特定の分野の内容にも回答できるようにしたものです。

これにより、他自治体からのChatGPTに関する問い合わせに自動で答えられるようにして、他自治体への情報共有の円滑化や、本市職員の対応時間の削減と業務軽減を目指します。

本対応ボットは、本市ホームページ等で公開しておりますが、今回の取り組みは、他自治体向けにあくまで試験的なものであり、将来的にはこの技術を、市民向けを含めた、様々な問い合わせ対応ボットへと展開することを視野に入れ、運用を行ってまいります。

【対応ボット画面サンプル】



横須賀市では、令和5年4月20日からChatGPTの全庁的な活用実証を開始し、令和5年6月5日から実装しています。

AIによる自動生成

横須賀市ではいつからChatGPTを活用していますか？

【対応ボット URL】



事務担当

経営企画部 デジタル・ガバメント推進室 寒川
直通 046-822-8130 内線 6013